



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 24
 発行 平成27年10月9日(金)
 文責 校長 長 嶺 吉 浩



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒（知）
 広い視野をもち、思いやりのある生徒（徳）
 心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒（体）



テストに取り組む3年生

～中間テスト～ これは大きな通過点！

10月9日(金)中間テストが行われました。後期のスタート早々にテストがあり、後期がいろいろな意味で学習の充実に最適であることがわかります。運動などの目に見える努力から、“目に見えにくい努力”へ転換です。中体連や陸上、駅伝、合唱や合奏で培ってきた力を学習に向け充実させる時期です。スポーツには日々の練習と反省があります。毎日やっていることが、どれほどの力をつけるのかを生徒達は実感してきました。日々、

効果的な学習を心がけ、今よりも知識や理解を深め判断力や表現する力を磨いてほしいと思います。



朝の図書室

・・・いのちの教育・・・ 各学年ごとに実施！



3年生 性感染症



2年生 生命の誕生



1年生 二次性徴



生命の誕生
授業より

今週、助産師の松本美津子先生を郡山市よりおいでいただき、いのちの教育を行いました。6日(火)3年生では「性感染症」を題材に性感染症の実態や予防の知識、相手への思いやりの心を、8日(木)2校時1年生では「二次性徴」を題材に身体と心の発達を、3校時2年生「生命の誕生」では出産の理解や赤ちゃんやお母さんについて尊さを学習しました。学年の発達に応じた内容に生徒は真剣に授業に参加していました。授業後は将来の自分に役立てようとする意見や感想・感動が多数見られました。

・・・後期役員の任命・・・



10月5日(月)の朝の会で、後期役員の任命を行いました。学級委員生徒会奉仕部長、部活動部長に選ばれたそれぞれの生徒に一人ずつ任命証を手渡しました。学校の

リーダーとしての活躍を期待しています。また、フォロワーシップというリーダーを支える心の話もしました。後期スタートの節目となりました。



田澤先生講演より(竹林No22詳細)

映像メディアとの接触時間

～やっぱり「1時間」が安全～

「テレビを長時間見ると脳の発達に悪い」「言語能力が落ちる」ことが改めて報道されています。～略～脳科学者の川島隆太さんも「ゲームなどの遊びは長くても1時間以内」と言っています。いろいろなものを含めて1時間が目安と言っています。実際に学力(数学)と携帯・スマホの関係が報告され、興味深い事実が明らかにされました。勉強しないグループに比較し、勉強するグループの成績は当然良い結果になりますが、携帯やスマホを使えば使うほど、どんどん学力が下がるという結果です。注目すべきは1時間使用までは「学力に影響がない」事実です。便利な道具として、あるいは気分転換の道具として、1時間くらい使うのは問題は少ないが、それ以上はやめた方がよいという警鐘です。～略～

